

オニウシノケグサ (鬼牛の毛草)

名前の意味^{いみ}：大きなウシノケグサの意味。鬼はにているが大きなもの、頑丈^{がんじょう}なものに付ける。ウシノケグサは、葉が細く巻いているのを、牛の毛にたとえた。

分類：単子葉類、イネ科、ウシノケグサ属
(イネ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴^{みっしゅう}：密集する茎^{くき}、先にノギ^{はり} (針のような毛) が出ている笹かまぼこ型の花の集まり。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁^{れつ}、2裂 (小さくてよくわからない)

花の時期：5 - 7月

食べ方：食べない

見分け方：ヒロハウシノケグサとは、小穂^{しょうすい} (花の集まり) にノギが出ていて区別できるが、雑種が多く^{むつか} 難しい。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)